5年	科目	法学	講義	前期または後期	担当	森田茂敬
全学科共通		Law	選択	2学修単位（講義30+自学自習60）		Morita　Shigeyuki

授業の概要

本講義は、人々が社会の中で活動するために守るべき「法」を考察する。それらの「法」の存在には、必ず理由があり、違反する場合には制裁や法的責任を負うことになる。私たちにとって必要不可欠であり、重要な知識としての「法学」を学ぶことにより、工業人としての自覚と優れた人間力を養う機会としたい。

本校学習・教育目標（本科のみ）		目標	説明
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）	実践指針（プログラム対象科目のみ）	実践指針のレベル（プログラム対象科目のみ）
A. 社会的責任の自覚と地球・地域環境についての深い洞察力と多面的考察力		

授業目標

1 基本的な法学の知識を習得すること。
2 法的視点から社会問題を考察する素養を身につけること。
3 2について考察した事柄を論理的に検討し、それを他者に伝える能力を身につけること。

授業計画

第1回	オリエンテーション／イントロダクション	授業概要およびシラバスの説明／法学の概要についての説明
第2回	法とは何か①	法の支配について／法の本質および分類について
第3回	法とは何か②	法の目的および歴史について／法の適用および解釈について
第4回	日本国憲法①	憲法（基本法）の考え方と現代的意義／日本国憲法の基本原理
第5回	日本国憲法②	基本的人権の概要／日本国憲法における人権規定
第6回	日本国憲法③	統治機構の概要／日本国憲法における統治機構
第7回	中間まとめ	これまでの学習内容の小括と確認／質疑応答
第8回	中間試験	
第9回	民事法①	民法の概要について／民法の基本原理
第10回	民事法②	物権法／債権法
第11回	民事法③	親族法／相続法
第12回	知的財産権法	知的財産権の意義と特徴／知的財産権保護政策
第13回	刑事法①	刑法の概要について／刑法の目的と機能
第14回	刑事法②	犯罪論／刑罰論
第15回	裁判員制度	裁判員裁判の意義と目的／裁判員裁判の制度概要
	期末試験	
第16回	環境法／最終まとめ	環境法の意義と目的／授業全体の総括と最終確認

評価方法と基準	1 定期試験の得点期末試験（50%　ただし、60点を最低合格得点とする） 2 課題レポートの内容（30%） 3 受講態度・課題発表時の積極性（20%　課題発表を含む）
教科書等	江頭憲治郎ほか『ポケット六法　平成26年版』有斐閣（最新版のものであれば他の六法でもよい） 茂野隆晴編著『プライマリー法学 日本法のシステム』芦書房（本書以外の法学入門書を参照してもよい）
備考	M科、E科は前期に、D科、S科、C科は後期に開講する。 自学自習課題として発表およびレポートの提出を単位認定の条件とする。 課題発表：取組む課題を選択し、複数人でグループを作り、講義内において25分程度の発表を行う。 詳細については、第1回講義時に説明する。 レポート：法的論点に関する課題を1200文字程度でまとめたレポートを講義外にて作成する。
	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。